

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	小口太郎生誕120周年・琵琶湖周航の歌100周年記念事業
事業主体 (連絡先)	小口太郎生誕120周年記念事業実行委員会 0266-23-2345 (事務局: 岡谷商工会議所内)
事業区分	(3) 教育及び文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,919,594 円 (うち支援金: 1,439,000 円)



事業内容

岡谷市出身の物理学者であり、また「琵琶湖周航の歌」作詞者である小口太郎の生誕120周年を記念し、その功績を改めて顕彰することで小口太郎の創造性や先進性を次代を担う子どもたちに受け継いでもらう。

- ・顕彰パンフレットを作成し、2回実施したイベントの参加者へ配布し、小口太郎について顕彰できる機会の創出。

- ・小口太郎を紹介した映像を収めたDVDと小学生向け資料を作成し、岡谷市教育委員会へ寄贈。

- ・10月7日 小口太郎生誕120周年記念・顕彰碑等建立30周年記念の集いの開催

- ・11月17日 小口太郎生誕120周年記念・琵琶湖周航の歌100周年記念コンサートの開催



【イベントでの琵琶湖周航の歌
全員合唱の様子】

【目標・ねらい】

- ① 小口太郎について改めて顕彰する
- ② イベントを通して多くの人に小口太郎の功績を知ってもらう
- ③ 小学生に関心をもってもらおう

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①顕彰パンフレットを作成し、配布したことで今まで小口太郎のことを知らなかった方にもパンフレットを見ることで、わかりやすく人物像や功績などを知ってもらうことができた。

②2回のイベントを行うことで、昔から小口太郎を知っている地元の方はもちろん、コンサートには琵琶湖周航の歌になじみのある方だけでなく、市内外から多くの方に来場いただき、小口太郎をより一層知ってもらうきっかけとなった。

③小学生向けの資料を作成し、DVDと共に教育委員会へ寄贈。岡谷市のスタンダードカリキュラムで使用してもらうことで、地域の偉人の1人として関心をもってもらえるようにした。

※自己評価【A】

【理由】

イベントに予想を上回る参加者があったこと、また、学校教材用の資料を作成したことで、子供たちにも小口太郎の功績を知ってもらえるきっかけ作りができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

小口太郎顕彰碑等保存会で、引き続き顕彰碑等の整備保存に努めていくとともに、公共施設等にパネル展示の依頼。小口太郎の創造性や先進性を後世へ受け継いでもらうべく教育委員会に寄贈したDVD、パンフレット、パネルを継続的に小学校の授業で活用していただく。

(別記様式第12号) (第3の8関係)

- ※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある